

# たんぽぽだよ!



## 人が集うには訳がある

理事長 荻部 一夫



韓国・ソウルの梨泰院(イテウォン)地区で、人並みに押しつぶされて多くの人が亡くなるという事故がありました。亡くなられた方々のご冥福を心よりお祈りします。

人は元来群れる生き物だと言われています。コロナで長い間外出が制限されてきたこともあってか、堰を切ったようにハロウィンなどのお祭りや旅行にでかけるなど、非日常性を求めて動き出しているようです。

人はなぜ群れるのか。人はその場所に何を求めているのか。その理由をいろいろと思いつくらせると、いつも見ている景色が違って見える気がします。

私は、「プラタモリ」という番組が好きでよく見るのですが、街歩きが趣味のタモリさんが、プラプラ歩きながら知られざる街の歴史や人々の暮らしに迫る番組です。なぜそこに人々が群れてきたか、街の様々な魅力や歴史や文化からそのなぞを再発見していきまします。タモリさんの趣向か、番組でいつも必ず出てくるのが、地質・地形などの要素です。人々がその土地の地質や地形などをいかにうまく利用してきたかは、人が群れる理由の大きな要素になっています。他にも、気候の要素も重視されています。これらは水利や運搬・交通、城塞などと大きく関係することが紹介されています。

過日、石川県輪島市に視察に行ったときのことです。

輪島市は中心都市の金沢市からも結構遠いですが、なぜこの地で「輪島塗」というイメージの場所が発祥したのだろうと思っていました。現地の方からの説明を聞くと、「人が集うには訳がある」とかつて北前船で賑わった頃の街並みが残る地域を見て納得するものがありました。旅に出るとその土地その土地の自然や文化、人々の営みが感じられ感動を覚えます。

私は渋谷には滅多に行きませんが、ハロウィンや年越しカウントダウンには、日本全国から多くの若者が集まります。想像するに、個性を表現できることが魅力なのかもしれませんし、渋谷の街がもつ流行の先端文化が醸し出す空気に浸りに来たのかもしれない。そして、何より人が集うこと自体を欲しているからかもしれません。

こうして考えてみると、私たち龍鳳は、練馬と東久留米、清瀬それぞれの地域の魅力の一つとして存在しているということに自覚する必要があると思うのです。それには、人々が群れる(集いたくなるような)要因を考えるとともに、地域の人々にとっての各施設の存在意義を強く意識しておくことが大切だと考えています。龍鳳は経営目標に「地域と共に持続可能な社会をつくる」を掲げています。さらに、このことを国連が提唱するSDGsへの取り組み目標とし、地域共生社会を目指していきます。それには龍鳳の持つ強みを生かし、事業活動を通して社会貢献を行っていきます。こうした取り組みが地域の人々から愛される法人となることに繋がり、地域の魅力の一因となるのだと信じています。

# 1月の活動予定

日	月	火	水	木	金	土
1 冬季休暇	2 冬季休暇	3 冬季休暇	4	5	6	7
8	9 成人の日	10	11	12	13	14 開所日
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

## ご寄附をいただきました

社会福祉法人木下財団様より、令和4年度助成金をいただき、門扉インターフォン設置と、掃除機2台の購入を実施いたしました。誠にありがとうございます。

たんぽぽの安全対策や清掃活動にて、活用させていただきます。

(2022.10～11月に設置及び購入)



安全対策も整備がすすみました。

利用者の方が掃除機で清掃活動をされています。



自主製品を発信しています

### Instagramのご紹介

スマートフォンのカメラアプリを立ち上げ、右のQRコードにカメラを向けると、URLが認識され、タップをする  
と、WEBサイトにアクセスできます。



HOUKITOTIRITOR.LT

皆様のアクセス  
お待ちしております！

## 業務課に、いろいろ聞いてみよう！ その2



たんぽぽでは、「就労継続課」や「生活介護課」のほかにも様々な課が活動しています。「業務課その1」に引き続き、課長さん（星 将之職員）に活動内容等をインタビュー形式で聞きました。

質問2：利用者の方とは、どのような関わりがありますか？

回答：① 年に2回行われる防災訓練の際に、利用者の皆さんと次のような準備をしています。

- ・事前に、何を準備（ヘルメット・ハンカチ）して、どこに避難するのか、を職員と一緒に確認します。
- ・生活介護課では紙芝居を使って、防災訓練の流れを説明しています。



- ② 毎日、利用者様（12名）の送迎を行っています。安全なお迎え・送りができるよう日々連絡調整を行いながら、皆様に乗車していただいています。

質問3：業務課として活動する上で、心がけていることはありますか？

回答：・期限のある業務（車検や自動車保険契約更新など）は、早めに手続きを完了させるように心がけています。

- ・安全管理の一環として、送迎車の管理や配車の調整は、担当職員と運転手で連携をとり、お互いに声を掛け合って確認に努めています。



質問4：現在、業務課としての課題等がありますか？

回答： 写真販売を実施するために、日頃から業務課の職員だけでなく、職員全体で活動の様子を撮影し、記録として保管をしています。おかげで、利用者様の色々な表情がわかる写真が集まりました。支援をしながらの写真撮影は大変なことなのですが、職員同士で協力し合い、継続していけたらと思います。



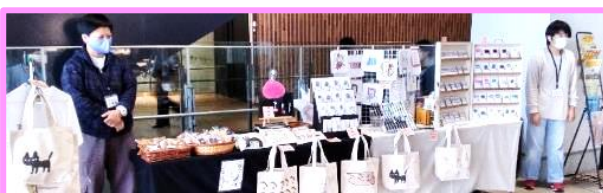
質問5：今後の業務課として目標にしていることはありますか？。

回答：災害対策用として備蓄している保存食や水の保管場所の再確認を行い、現状把握を徹底してまいります。また、期限が近づいている保存食などの試食体験なども実施してみたいと考えています。引き続き、利用者の皆さんが安心安全に、たんぼぼに通所していただけるような、環境づくりを目指してまいります。



### <販売イベントのご報告>

- ・ねりいち in ココネリ 10月17・18日
- ・ねりいち(区役所アトリウム)10月25日
- ・「やさしさつながる福祉のマルシェ」  
11月9日～15日(セレオ八王子)  
12月5日～13日(小田急ステーション相模大野)



相模大野での販売では、Xmas直前のイベントでしたので、ギフトで使用出来るように、ライフパートナーこぶしのこむぎ班に協力をさせていただき、クッキーを合わせて商品を販売する試みを行いました。



### <新作のご紹介>

ご利用者兼作家さんの新しい作品が続々と誕生しております。

また過去に描いていただいたイラストを使用し、商品展開をさせていただいております。

引き続き、応援よろしくお願い致します。

ポーチ&クッキー 1,240円



ポーチ 1,000円



ブローチ

